

2019年10月22日

お客様各位

台風19号により被害を受けられた皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

千葉県を中心に大きな被害をもたらした台風15号に続き、10月12日(土曜日)に日本列島を縦断したスーパー台風19号(ハギビス)による記録的な豪雨により、15日時点で47河川66か所で決壊、1万2000棟以上の住宅が水に浸かり、土石流や崖崩れなどの土砂災害は、19の都県で140件発生、断水13都県で13万3000戸以上、停電は33,000戸に上っています。

また企業活動にもその影響が徐々に明らかになってきています。浸水被害だけでなく、断水、停電などユーティリティへの被害、また自社サイトが直接被害に遭遇していなくても、サプライヤーやクライアントを含め、道路などに溜まった水が引いてきた後の汚泥処理などの課題もあり、広範なサプライチェーン寸断、回復までの長期化も懸念されます。

15日の株式市場で、台風19号による被害状況について約40社の上場企業から開示があり、多くは業績やサプライチェーンへの影響は調査中とされました。またある大手メーカーでは、部品供給が滞ったため国内工場の操業停止を発表しており、最終製品の生産停止となっていると報道されていますが、取引先の生産設備が水につかって操業できない状況が後から明らかになるなど、多数の部品メーカーを含む、下請け企業におけるリスクの把握に課題があると推察します。

地震被害などで対応した、防災活動から減災への流れでBCP(事業継続計画)を策定、実行された会社もありますが、稼働停止、代替生産拠点の検討をされている企業もでてきています。

企業における災害対応に対しては、保険会社では対策本部等を設置し、被災地のお客様を支援できる態勢を整えています。初期対応から、被害状況の把握・修理見積取得、アジャスター派遣による損害状況・金額の把握、保険契約の把握・検証、保険金請求処理の準備、またその後の保険会社との交渉過程へと繋がりますが、特に利益保険に関する保険金請求手続きにつきましては、復旧までの逸失利益、追加費用の支出など準備や交渉は複雑であり、大規模災害の場合は、その期間は長期に渡る可能性があります。

ウイリスタワーズワトソンはリーディング保険ブローカーとして、インハウスでクレームチームを持ち、また大規模複雑クレーム&法廷会計チーム(Forensic Accounting & Complexed Claim; FACC Team)を持っており、大規模自然災害における利益保険金請求をお客様に代わりさせていただきます。

FACCチームはこれまで2015年天津爆発事故、2011年タイ洪水などで、災害発生初期から現地災害発生場所でいち早く保険金請求に関するクレーム処理を進め、クライアントに対する適正な保険金請求に役立っています。

弊社契約有無に関わらず、本災害による保険金請求に関するアドバイスやサポートにつきまして、以下まで遠慮なくご照会ください。

本件に関するご連絡先:
ウイリスタワーズワトソン
電話番号 03-6833-4688

ディビジョンディレクター、コーポレートプランニング 野々村 弘幸
hiroyuki.nonomura@willistowerswatson.com

ジャパンデスクアジアヘッド 三木 健一郎
kenichiro.miki@WillisTowersWatson.com

ウィリス・タワーズ・ワトソン (NASDAQ: WLTW) は、世界中のクライアントがリスクを成長へと変えることをサポートする、世界におけるリーディングアドバイザー、保険ブローカーおよびソリューションカンパニーです。そのルーツは 1828 年に遡り、ウィリス・タワーズ・ワトソンには 45,000 人の従業員がおり、140 を超える国と市場にサービスを提供しています。

リスクを管理し、利益を最大最適化し、人材を育成し、資本力を拡大して、組織または企業と個人を保護または強化するソリューションを設計および提供いたします。また独自の視点により、タレント、資産、アイデアによる重要な交差、つまりビジネスパフォーマンスを促進するダイナミックな方程式となります。

私たちは共に、その可能性を追求いたします。